

市川市史執筆要項（案）

平成 25 年 5 月 21 日作成

この要項は、市川市が発行する市川市史を執筆するにあたり、必要な事項を定めるものである。

1. 基本原則

「市川市史編さん基本方針」および「市川市史編さん基本計画」に則り、執筆すること。

2. 文章表記

(1) 文体は平易な口語体とし、「である」調とする。

(2) 本文は原則として常用漢字を使用し、現代かな遣いによること。ただし、固有名詞はこの限りではない。

(3) 年号は西暦とし、特に必要な場合は、西暦と元号を併記する。

例) 2012 (平成 24) 年

(4) 引用は「 」によって示すこととする。長文におよぶ場合は、改行して全体を二字下げて記載する。

(5) 原則、注釈注は付けない。引用注の場合は本文中に文献名を表記するか、例 2 のように記すこと。

例 1) 『国分小学校学校沿革誌』の 1900 (明治 32) 年 10 月 20 日の条には、「…中略…」という記述がある。

例 2) 田原・中村 (1997) によると、堀之内では台地斜面から台地上は、…後略…

(6) 参考文献および引用文献は、別に定める執筆細則に基づき、まとめて記載すること。なお、参考文献は必要最低限のものを記載する。

3. 図・表の掲載

図・表は一図、一表ごとに別紙に書き、本文とは別に一括して添えること。図・表ごとに通し番号をつけ、それぞれにタイトル、説明並びに出典等をつけ、本文原稿の欄外に挿入箇所を明記すること。

4. 既存の出版公表物等からの転載

執筆者は、既存の出版公表物等から写真・図版類を転載する場合は、(様式 1) を文化振興課に提出すること。文化振興課は、提出された様式の内容に基づき、転載にかかる著作者および著作権者の許諾を得ることとする。

5. 協力機関・協力者の表記

協力機関および協力者については、巻末に一覧を掲載する。

協力機関および協力者がある場合は、本文中に謝辞等を記載せず、機関名・氏名の一覧を文化振興課に提出すること。

6. 原稿の提出

(1) 提出方法

原稿は、文字・写真・図版のいずれについても原則電子データとし、締切日までにファイルデータを記録したメディアと印字した原稿を提出すること。ただし、図版類のうち電子データ化が難しいものについては事務局に申し出ること。また、転載資料がある場合は、様式1をあわせて提出すること。

(2) 提出先

〒272-0023 千葉県市川市南八幡 4-2-5 いちかわ情報プラザ 2 階
市川市文化振興課 市史編さん事業担当

7. 原稿の取り扱い

原稿提出後、巻ごとに調査編集委員および市川市職員による編集作業を行う。

調査編集委員は、巻全体の統一性および市川市史全巻における当該巻の位置づけ等を考慮し、原稿内容の確認・推敲を行う。原稿管理等、編集に必要となるその他の業務は市川市が行う。

なお、上記の過程において、執筆者に原稿の修正等を依頼する場合がある。

8. 校正

制作業者に入稿後の校正は原則執筆者が行うが、最終校正は調査編集委員による編集会議で行う。

9. 著作権の取り扱い

市川市史への掲載を目的に作成した著作物にかかる著作権の取り扱いについて、執筆者と市川市との間で別に定めるとおり覚書を締結する。

10. その他

各巻の内容、構成、執筆にあたっての留意点、表記等の統一化の目安を図るために必要となる事項など、この要項に定めのない事項については、巻ごとの執筆細則に定めることとする。

【問い合わせ先】

市川市 文化国際部 文化振興課 市史編さん事業担当
電話 047-300-8020

(様式1)

平成 年 月 日

市川市長

氏名 _____
住所 _____

電話番号 _____
メールアドレス _____

写真・図版類の転載について（依頼）

市川市史の編さんにかかる原稿の執筆について、下記出版公表物の一部を転載いたしたく、版元への申請を依頼します。

記

1. 出版公表物の名称
2. 編著者
3. 該当箇所
 - (1) 該当頁
 - (2) 行および番号等

※ 使用希望箇所を示した該当頁および奥付のコピーをご提出ください

4. 発行者
 - (1) 発行者名
 - (2) 住 所 〒
5. 出版社名
 - (1) 出版社名
 - (2) 住 所 〒

(様式2)

平成 年 月 日

様

写真・図版類の御著書よりの転載について（依頼）

拝啓

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、私は市川市より市川市史の原稿執筆を依頼されました。

つきましては、同書に、 様の御著書の一部を下記のとおり転載させていただきたく、ご承諾くださいますようお願い申し上げます。版元の承諾はすでに得ております。

なお、転載に際しましては、出典を明示いたします。

ご多用中のところ大変恐縮ではございますが、同封の葉書にてご返信いただければ幸いです。

敬具

執筆者氏名

印

記

1. 転載先

(1) 名 称

(2) 刊 行 年 月 刊行予定

2. 転載元

(1) 出版公表物名

(2) 刊行年月日

(3) 編著者名

(4) 該当箇所

該当頁：

行および番号等：

(5) 発行者名

(6) 出版者名